

製品名: PCPTP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02408**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ねずみ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル抗体 |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 74 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---------------------------------------|
| 遺伝子名 | PTPRR |
| 別名 | PTPRQ; EC-PTP; PCPTP1; PTP-SL; PTPBR7 |
| 遺伝子 ID | 5801 |
| SwissProt ID | Q15256 |
| 免疫原 | ヒト PCPTP1 の合成ペプチド |

背景

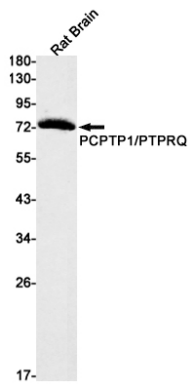
MAPK1、MAPK3、MAPK14 などのミトゲン活性化プロテインキナーゼ（MAPK）を不活性な状態で細胞質内に隔離する。MAPK は

脱リン酸化キナーゼ相互作用モチーフに結合し、プロテインキナーゼ A 複合体によってリン酸化されると MAPK は放出され、活性化されて核へ移行する。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



PCPTP1 抗体を使用したラット脳溶解物中の PCPTP1/PTPRQ のウエスタンブロット分析